逗ィスタイノノ

~まちなみ景観の見方の提案~

山口大学

名古屋大学

関東学院大学

早稲田大学

岡田 恵 岡本 肇 加藤 輝之

簾藤 麻木

逗子スタイルとは?

逗子ならではの季節感豊富な自然環境や、歴史環境に育まれる市民のライフスタイル。そしてそのライフスタイルによって育まれる自然・歴史環境のスタイル なのでは・・・

私たちの提案にそのものに入る前に…「逗子スタイル」を育むための大原則は・・・

- 1. 都市の骨格を大事にする
 - →屋敷道 シンボルロード R134
- 2. 山並みの眺望を大事にする
- コンパクトな逗子湾の景観
 →海から見た景観のまとまり
- 4. 積み重ねられた歴史を大事にする
- 5. 四季の移ろい

→ビーチ 富士山 山の色彩の移ろい

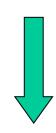
6. 界隈性を大事にする

→路地空間

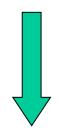
私たちの班のまちなみ景観の見方と提案の手順

•まちなみ景観の下地(奥)に注目

・・・三方の山々(桜山、披露山など)、海、川



・「山とまちなみ景観」、「山と川とまちなみ景観」などの組み合わせによってできる複雑な景観(でもなんとなく逗子らしい、けど多少問題な)を探し、パターン化、典型例、重点例を出す



・典型例から「逗子スタイル」を育むための見方とアイデアを、抽象的であるが提案

逗子のまちの成り立ち



①直線道路、②路地空間、③川沿い空間、に着目

注目するまち(特に道の構造)の成り立ち

特徴

対策

①直線道路

•屋敷道

・シンボルロードー

②路地空間

③川沿い空間

桜山、披露山が正面に見える

桜山、披露山が左右に見える

桜山、披露山が正面に見えたり左右に見えたりする

山と川が一体的に広がって見える

シークエンスを重要視する

すき間から見える景色を重要 視する

見え隠れする景色を重視する

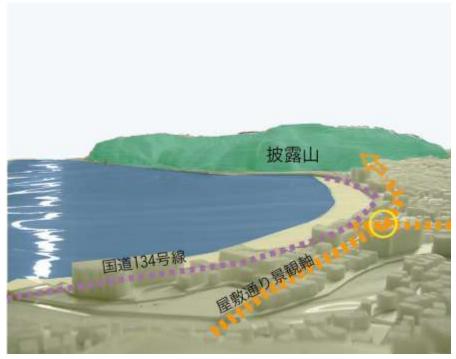
_ 広い範囲の景観との組み合わ せを重視する









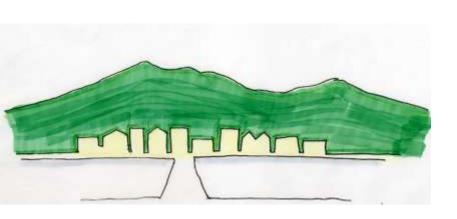


披露山からの展望

桜山からの展望

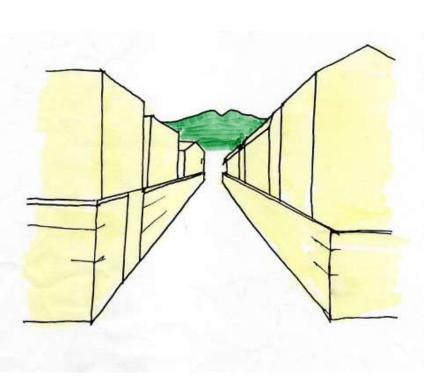
屋敷通り(直線・真正面)では

山にもぐる



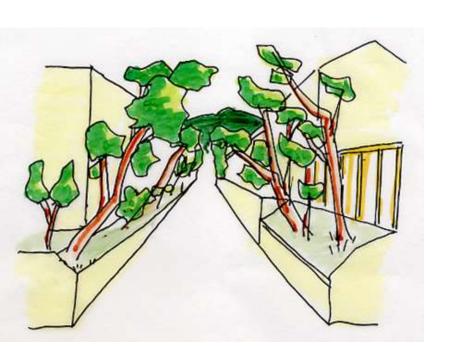


山と屋根が並ぶ



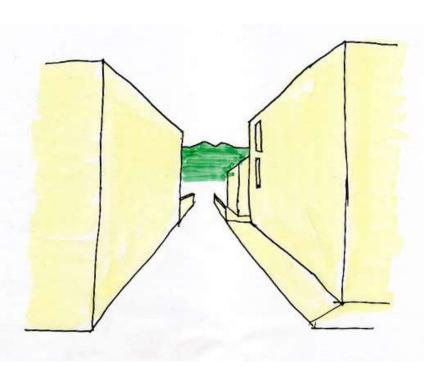


松林に囲まれる





建物で山の風景が切り取られる





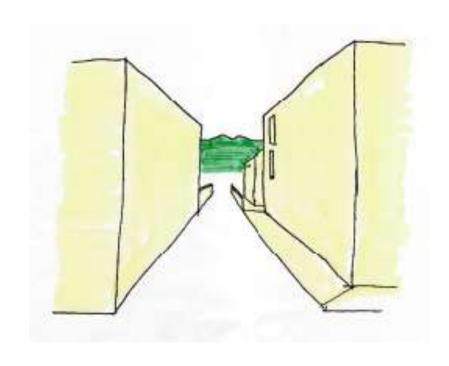
シンボルロード(直線・横)では

佇む空間から見る



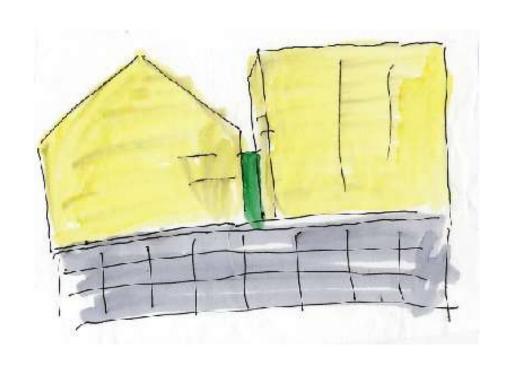


わき道から見える



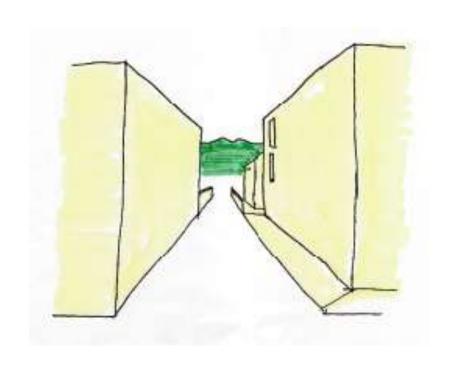


建物のすき間から見える





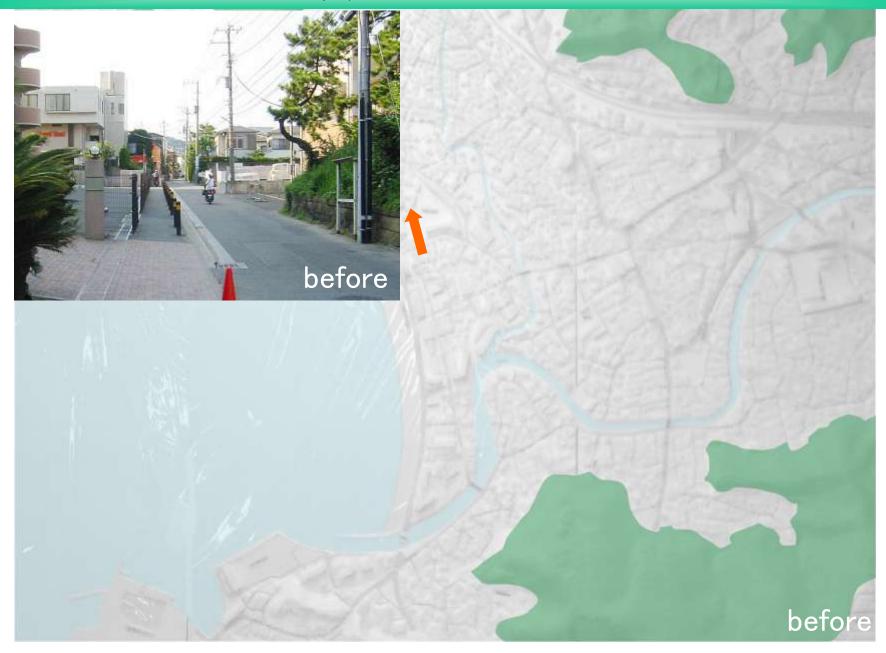
空き地・駐車場から見える





重要例の一つ























既存建物の色彩を違和感 無いものにする (→逗子会館など)



中景のクロマツの植栽を活かした囲障を作り、 シンボルロードの 特徴としていく。



セットバック・歩道部分 の確保を進める。



看板・のぼりなどを置かない 国道134号の柵の素材を 工夫する。





既存建物の色彩を違和感 無いものにする (→逗子会館など)



中景のクロマツの植栽を 活かした囲障を作り、 シンボルロードの 特徴としていく。



セットバック・歩道部分 の確保を進める。



看板・のぼりなどを置かない 国道134号の柵の素材を 工夫する。





既存建物の色彩を違和感 無いものにする (→逗子会館など)



中景のクロマツの植栽を 活かした囲障を作り、 シンボルロードの 特徴としていく。



セットバック・歩道部分 の確保を進める。



看板・のぼりなどを置かない 国道134号の柵の素材を 工夫する。